



NO.1429
9月3日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七

航空自衛隊が基地一般開放 政府は戦争の準備ではなく、外交努力を!

航空自衛隊網走分屯基地は、8月26日午前9時〜午後3時まで基地の一般開放し、党議員団も見学しました。説明によると、一般公開されるのは10数年ぶりということでした。なぜこの時期に一般開放されたのかの理由については説明はありませんでした。

今、政府に求められているのは、戦争するための準備ではなく、平和を守るために近隣諸国との外交を通じての話し合いをすることです。軍拡は戦争になります。平和を守る努力こそが求められる。そのことを実感する基地見学の体験でした。



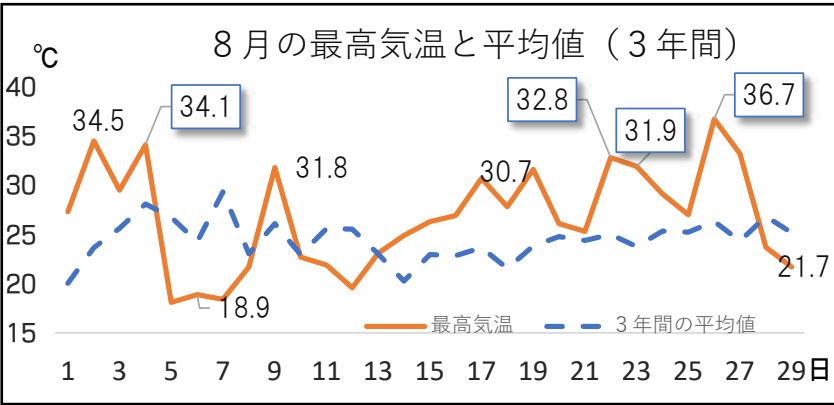
16式機動戦闘車

憲法9条：日本国民は、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

広報車「熱中症に注意」 市民への周知 図られる

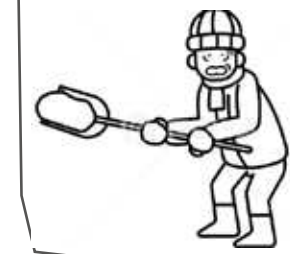
中で、「我が国は、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しており、航空自衛隊が果たすべき役割は大きくなっていると実感している」と述べています。岸田自公政権が進める「敵基地攻撃能力を持つことができる」という解釈の下で、大軍拡路線に基づいて、一般市民に戦車をはじめペトリオット(PAC3)などを見せる、乗せるなどで親近感を持たせ、自衛隊をアピールする狙いが見えました。

また、6月22日には多用途支援艦「すおう」が、8月24日には掃海艇「いずしま」が、第2ふ頭で一般公開されていました。



今年の夏は本当に暑い夏となつていますが、8月は熱中症警戒アラートが4回出され(グラフ囲み)、網走市はエコセンター、コミセン、住民センターを避難所として解放しました。8月24日朝、日本共産党議員団はホームページだけでなく、広報車による周知を求めたところ、網走市は広報車7台でアラートの発生と外出を避け小まめに水分を取ること、避難所の解放について市民にお知らせをしました。

市によると、4回で100人(日中に順に25人、16人、20人、39人)が避難したとのこと。熱中症の危険性などの周知は必要です。

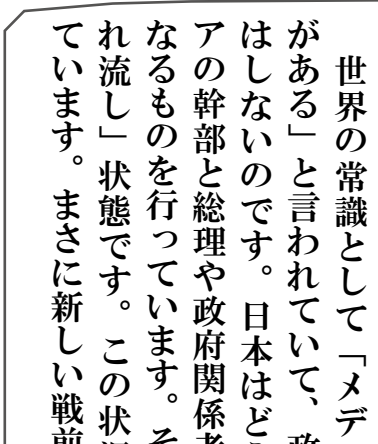


増で、約1.3倍の大幅な増額となつていきます。軍事費の拡大はこれからも続き、昨年末に閣議決定した安保3文書の防衛力整備計画で、5年間で43兆円も軍事費に税金を投入します。岸田政権は、今年の軍事費を「防衛力抜本的強化元年予算」と名付けました。この状況は、明らかに憲法違反の内容だと私は思っています。しかし、日本のメディアは、岸田政権の大軍拡予算について憲法との関係で、どこが問題なのか、なぜこのような軍拡が行われるのかについて、何一つ明らかにしません。

世界の常識として「メディアは権力を監視する役割がある」と言われていて、政府関係者との「飲み食い」はしないのです。日本はどうでしょうか、大手メディアの幹部と総理や政府関係者と何度となく「飲み食い」なるものを行っています。その結果、政府の情報の「垂れ流し」状態です。この状況に海外の記者たちは驚いています。まさに新しい戦前が深刻になっていきます。

流氷

熱く、暑かった全国高校野球大会は慶応高校が107年振り、2回目の優勝で盛り上がった。3年振りに春の大会から忙しく観戦した。南大会では、北海、道栄、駒吉、立命館慶祥高校に注目。力のある3投手を要した北海高校が制した。北大は、順当にクラーク高校が決めた。準、決勝大会は日ハム新球場で行われた。観客で一杯、熱気に溢れた。全国大会では両校とも実力を発揮、北海道のレベルの高さを見た▼『怒!!』岸田首相は福島原発汚染水海洋放出を強行した。「関係者の理解無しには放出しない」との約束を無視、「聞く力」と言っていたが「聞く耳は持たぬ!!」。大量に溶け出した核燃料の取り出しに何年掛かるのか。「海は全世界の財産、日本が勝手に汚染水を流すな!!」と、世界中から非難の声が上がっている。溶け落ちた核燃料の取り出しは可能なのか?ソ連のチェルノブイリ原発の様になるのでは。中国は日本の魚介類の輸入を中止した。汚染水の海洋放出は止めよ!!▼連日の暑さにプールに逃げ込む。キラキラと虹色に光る水の中、身体が空に浮かび鳥になったようだ!!
アスリート爺



暑い夏が終わるんだと思ふとさみしいです。あつという間に冬がやって来ます。食料品、灯油、電気代の高騰と、年金収入しかない高齢者は、お金を少しずつ貯めていると聞きます。切実です。そして、雪が降ると除雪がまた大変です。今から地域に入って除雪をどうやっているのか聞き取り、今ある制度、市の高齢者除雪事業を活用できるように周知を図りたいと思います。今回、網走市が公園や市有地を雪置き場として使えるようになりました。除雪の負担を減らす良い取り組みだと思えます。

6月に一般質問で除雪車の運転手不足を解消するよう求めましたが、市内事業者を調査したところ、少なからず除雪事業に参入できる企業があったとのこと。市の除雪で玄関前除雪実現のために、市民の声を市役所職員に届け、引き続き頑張ります。